

令和7年度 総務委員会 活動方針

副会長 田城 敏史
副会長 羌 叡應
委員長 中尾 かな

1. 総会、理事会等 諸会議の設営

組織全体の動きを把握しながら、総会及び理事会や各事業が円滑に運営できるように努める。
諸会議が、有意義かつ効率的な議論の場となるよう徹底して準備、運営を行う。

インターネットを活用したオンライン会議の経験を前年度から引継ぎ、ハイブリッド形式などの会議運営を今後も積極的に活用しつつ、効率的かつ円滑に準備、運営を行う。議事録作成のために昨年度に引続きAIを活用する。

2. 地区間交流助成事業の実施

本年度も引き続き地区間交流助成事業を実施する。多くの学校園にさらに積極的に活用していただけるように活動事例等の広報活動を行っていく。

3. PTA表彰

他の学校の模範かつ先進的で優れた活動を行った団体を表彰する。多くの応募をいただけるように工夫をし、広報活動を行っていく。

4. 対外組織との連携を図る

文部科学省をはじめとする関係省庁、関係団体との連携をより強固なものにし、積極的に連携、交流を図れるように、連絡調整に努める。また、「全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会」とも連携し、定期的に意見交換をする機会を準備する。

5. 附属学校の情報提供

日本教育新聞社への連載（全附P連特集）に関する情報提供を通じて、社会に向けて全国の附属学校PTAが取り組む独自性の高い活動を紹介するだけでなく、附属学校の存在意義、成果の還元状況、公私立学校にはない付加価値、全国に発信できる特色などを客観的エビデンスをもって示す機会とする。

以上

令和7年6月7日

令和7年度 財務委員会 活動方針

副会長	田城 敏史
副会長	羌 叡應
委員長	中井 優

1. 会計業務全般

事務局と連携して、定期的に現金および預金の残高および現金出納帳と預金通帳の収支の確認を行う。また、予算の執行状況について確認をするとともに、理事会においてその執行状況と今後の決算の見込みについて報告し、事業予算の適正執行にむけて、事業の推移を適宜確認する。また、印刷費など物価の高騰により単価が上がる可能性があり慎重に予算計上する。

2. カンガルー保険関係業務

カンガルー保険を広く普及させるための啓発活動を行う。また、GIGAスクール構想に伴い支給されているパソコンやタブレット端末の破損に対する保険についての見直しや、学校管理下でない放課後活動（クラブ活動など）時における補償の検討など時代に即した保険となるよう、保険会社と協力しさらなる内容の充実を目指す。

3. 財政教育プログラム関係業務（財務省との連携）

財務省と連携し、財政教育プログラムのさらなる普及推進活動を行う。

4. 金融経済教育プログラム関係業務（金融庁との連携）

金融庁と連携し、金融経済教室プログラムの内容の充実およびさらなる普及活動を推進する。

5. その他

上記以外の財務に関わる活動

以上

令和7年度 広報委員会 活動方針

副会長	羌 叡應
副会長	世古 丈人
委員長	村上 哲平

1. 広報活動全般（情報収集、情報発信、取材対応）

全附P連における広報活動全般として、従来の委員会活動に加え、今後の附属学校園の在り方を考える上で重要となる「不断の改革と周知」について、他の委員会と共に多様な媒体を用い、全国の附属学校園、及び全附P連の各種情報を収集し発信する。またその発信方法として、積極的に紙書類の電子化を導入し、SDGsを考慮したエコ活動の推進とあわせ、作業の効率化を図る。

2. 附属だよりの企画、取材、編集、発行

全附P連の活動方針、組織紹介、各事業報告等、全国の附属学校園、及び単位PTAの特色ある試みを広く紹介する。また、附属OB、OG訪問、省庁や連盟等のキーパーソンへのご寄稿依頼に新しい視点をもって取り組み、紙面の改善を常に心掛け、読みやすく、わかりやすい広報誌の作成に努める。

3. ホームページの企画・運営

全国の附属学校園、及び単位PTAの活動が、地域社会から一層の理解や支援が得られるよう、また、全附P連の活動を社会へ向けて発信できるよう、最新の情報を速やかに更新し、会員だけでなくより多くの方が興味を持ち閲覧できるホームページの仕組みを検討する。

4. 第21回絵画コンクールの実施

本年度は、北海道教育大学附属函館小学校・附属特別支援学校を主管校とし、「キラキラ★未来を描いて」をテーマに、全国の附属学校園より絵画作品を募集する。作品の紛失等のリスク軽減や管理、及び審査の負担軽減の効果を求め、フォトコンテストシステムを使用した募集や審査を行うとともに、入賞作品の発表を含む事業全般を全附連ホームページやその他の電子ツール、附属だより等で紹介し、事業周知とともに次年度開催への啓発を図る。

5. 第8回作文・絵作文コンクールの実施

本年度も昨年度同様、教師の職責に対し、理解が深まるよう設けられた「教師の日」にちなみ、テーマは、「先生へのメッセージ」や「先生との思い出」など先生に対しての作文とする。事業に対する子どもたちの興味や関心を一層高め、数多くの応募につながるよう、審査方法や募集時期、周知方法を再考する。また、入賞作品の発表等、事業全般を全附連ホームページやその他の電子ツール、附属だより等で紹介する等、事業周知に一層努める。

6. 小学生「夢をかなえる」作文コンクールの案内

小学校でのキャリア教育の実践や、児童の学習意欲向上を目的として、非特定営利活動法人日本FP協会が主催する「小学生「夢をかなえる」作文コンクール」の後援団体として、附属小学校への案内周知の協力を行う。

7. その他

附属学校園に関連する戦略的広報活動や、社会へ向けて全附P連の活動を発信するSNS・公式LINE、及びYouTubeチャンネル等の電子ツールを活用した企画運営を行う。また、特別委員会、及び全国大会実行委員会等、他の委員会との横断的な企画参画を図り、一層の広報活動の充実に努める。

以上

令和7年6月7日

令和7年度 研修委員会 活動方針

副会長	世古 丈人
副会長	羌 叡應
委員長	小川 浩司

1. P T A研修会第16回全国大会の企画、運営

P T A研修会全国大会を通じて、直面する教育課題やP T Aの運営などについて討議や意見交換を行う。「子どもたちとこの国の未来のために～語り合おう、いまわたしたちのできることを～」の大会スローガンのもとに、附属学校での新たな取り組みについてともに考察できるような機会を設ける。昨年度同様にリーガロイヤルホテル東京を会場とするが、昨年の実績を活かし、さらに円滑に運営できるよう努める。また、昨年と同様に、飲食を伴う情報交換会を開催し、地域や校種を超えた交流の促進を目指す。

要項、配布資料のペーパーレス化をさらに推進し、参加者にも運営スタッフにも快適に参加できる全国大会になるよう努める。

2. 全国大会実行委員会の運営

より質の高い、効率的な運営を行うべく、適切な時期・方法で委員会を開催し、協議を進める。また、関係者全員で企画、運営する全国大会を目指す。

3. P T A研修会第17回全国大会の企画

第16回全国大会までの結果を分析し、第17回全国大会が参加者にとってより魅力的な大会となるよう企画、立案を行う。さらに、第18回は75周年記念になるので、会場選定や企画を現実化させる。

4. 国立大学附属学校全国同窓会との連携、大同窓会運営協力

国立大学附属学校全国同窓会は、附属学校に思いを寄せる人々が時間を共有することで、附属学校の応援の輪を広げていくことを目的に、平成31年3月に設立された。本年度は第5回となる大同窓会の開催が予定されており、同窓会事務局と連携し、開催に協力する。

5. その他

特別委員会の事業へ参画する。

運営企画会議、P T A研修会第16回全国大会へ参画する。

以上

令和7年度 幼稚園特別支援委員会 活動方針

副会長	羌	勸應
副会長	世古	丈人
委員長	小池	秀樹

1. 活動助成事業の実施

全附P連P T A活動助成

附属幼稚園や附属特別支援学校、附属学校の障がい理解を推進するP T A活動に対して、2つの部門を設け、活動の助成を行う。

①附属幼稚園・附属特別支援学校のP T A活動

②カンガルーシップ活動（附属学校における障がい理解の促進、附属特別支援学校・学級との交流を図るP T A活動が対象）

2. あいサポート運動の推進

①附属学校や地域社会の障がいへの理解向上を図る「あいサポーター研修」を開催。

②附属学校において、園児・児童・生徒や保護者、教職員を対象にモデル授業を実施。

③運動拡大に不可欠な「あいサポートメッセンジャー」（研修講師）の養成を図る。

3. 視察・調査研究の実施

①附属幼稚園・認定こども園

附属学校の幼児教育の課題や取組み、成果について、視察や調査研究を実施する。

②附属特別支援学校・特別支援学級

附属学校の特別支援教育の課題と取組み、成果について、視察や調査研究を実施する。

③就労支援

附属特別支援学校などの卒業後の課題や取組み、成果について、視察や調査研究を実施する。

④視察や調査研究の結果は、報告書として情報公開し、附属学校の公共性の向上に寄与する。

4. 関係団体との連携強化

①附属学校の幼児教育や特別支援教育の公益性や公共性を高める団体との連携強化を図る。

②附属特別支援教育後の就労を含む希望進路の実現につながる団体との連携強化を図る。

③連携強化を図る中で得た有益な情報は、附属学校間だけでなく地域社会と共有することに努める。

5. その他

①単位P T A活動の文部科学大臣賞などへの推薦を行い、単位P T A活動の振興を図る。

②P T A研修会全国大会への参画を図る（分科会の開催、記念品・販売品で附属特別支援学校や学級、関連作業所の製作品を推薦するなど）。

③関連団体や各地区会などの主催行事へ積極的に参加し、当委員会の活動の周知を行うとともに参加して得た情報を、委員会内で共有する。

以上

令和7年6月7日

令和7年度 特別委員会 活動方針

委員長 田城 敏史

1. いじめ防止対策活動の推進

附属学校におけるいじめの未然防止・早期発見・早期対応を目的に、全附P連が、作成したいじめ対策動画ツールを積極的に活用しながら、保護者・教職員・地域が連携した啓発活動や情報共有を通じて、安全な学びの環境づくりを進める。

2. 特別広報活動の企画・運営

全国の附属学校における特色ある先進的PTA活動を、動画として制作・発信し、他地域への波及と活動の活性化を図る。SNSやWebを活用した戦略的広報により、附属PTAの価値や役割を広く社会に伝え、保護者の参画意識を高める。

3. 75周年に向けた事業の見直しと再構築

(一社)全国国立大学附属学校PTA連合会創立75周年を見据え、これまでの記念事業の意義と成果を検証するとともに、現代的ニーズに即した再構築を検討する。過去の歩みを活かしつつ、次世代に継承できる持続可能で共感性の高い新たな事業を構想する。

以上